

科目名 (英)	関係法規	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は15年です。美容師として働くうえで遵守すべき法令や知識を学ぶ科目です。法律や制度に関する専門用語をわかりやすく伝えます。							
目的:美容師法を学び、美容師として公衆衛生の向上に役立てること、また法令違反をした場合の行政処分や罰則について学び、法令順守を理解することを目的としています。							
概要:美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として、開設者として遵守すべき法令や知識を学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師・経営者(開設者)が遵守すべき法令を理解する。 基本的な法律用語や知識を身に付ける。 ルールを守り、美容の業を適正に実践する美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 関係法規・制度、法令集							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	本科目の説明 社会生活における法の役割、法の形式、種類					小テスト 1点	
2	衛生法規の概要、衛生法規の分類 衛生行政の意義と歴史、衛生行政の分類					小テスト 1点	
3	保健所の役割 美容師法の目的、用語の定義					小テスト 2点	
4	美容師養成施設、美容師試験、免許の申請と登録、欠格条件					小テスト 2点	
5	美容師の義務(衛生措置、美容師免許の変更・紛失などの手続き)					小テスト 2点	
6	免許取消処分・業務停止処分 管理美容師					小テスト 2点	
7	中間試験 (中間試験終了後)美容所を開設するための手続き					中間試験 20点	
8	中間試験の解説。 美容所の開設届、検査確認について理解する。					小テスト 2点	
9	重複開設、開設者の継承 開設者の義務(衛生措置)					小テスト 2点	
10	立入検査と検査確認 美容所以外での業務					小テスト 2点	
11	行政処分と罰則					小テスト 1点	
12	美容業の運営に関する法律					小テスト 1点	
13	美容業の衛生に関する法律					小テスト 1点	
14	消費者保護に関する法律					小テスト 1点	
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】 小テストは、Teamsを使用します。 中間試験、定期試験は、問題と解答用紙を配布して実施する予定です。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	衛生管理 I (Hygiene)	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	鈴木久美子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容専門学校卒業。数年間のサロンワークを経験後現在は各撮影やブライダルのヘアメイク業務に携わっています。将来皆さんが美容業に就くにあたっていろいろと参考になる知識や現在の状況、情報をお伝えすることができます。 目的:不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて行う美容業務。その業務に就くうえで個人としての衛生を保つ事は元より、感染症の予防、衛生措置の重要性を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】 衛生管理の意義と本質を明らかにする。国家試験科目でもあるため、各項目の重要点をまとめたプリントや問題集を用いてより理解を深める。また、問題集等を利用して苦手箇所を反復し克服する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、プリント、問題集等							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	講師自己紹介、オリエンテーション、授業科目の概要や進め方、 公衆衛生 の概要《意義と課題、発展の歴史》						
2	公衆衛生の概要《美容師と公衆衛生、保健所と美容業》・保健《母子保健(出生率)》						
3	保健《成人・高齢者保健(死亡率、生活習慣病)》					4点	
4	保健《成人・高齢者保健(生活習慣、高齢者の保健、福祉)》						
5	保健《精神保健》、全公衆衛生重要ポイント再確認					4点	
6	環境衛生の概要《環境衛生の内容、目的と意義》・空気環境《空気と健康》					2点	
7	☆ 中間試験・1～6回(公衆衛生・環境衛生～P50)・フィードバック					20点	
8	空気環境《温度、湿度、気流》・衣服、住居の衛生・上下水道と廃棄物						
9	衛生害虫、環境保全・感染症《歴史、法律上の分類》					4点	
10	病原微生物、細菌《種類、大きさ、構造、増殖と環境》						
11	病原微生物、ウイルス《種類、大きさ、構造、増殖と環境》					4点	
12	感染症の予防《汚染、感染、発病》						
13	感染症の予防《常在細菌叢、予防接種》					2点	
14	環境衛生・感染症 重要ポイント再確認						
15	☆前期期末試験・8～13回(環境衛生・感染症)P50～92・フィードバック					60点	
【特記事項】毎回必ず名札を付けること。中間・期末試験時は学生証も持参すること。毎回 教科書、プリント記入にあたり筆記用具(マーカー含む)を必ず持参すること。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	保健 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	米山 乃生
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 火・金
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>保健学は解剖学と生理学を合わせたような科目です。以前は「解剖生理学」という事もありました。 歯科大学で、解剖学、生理学を学び、卒業後は薬の業界から臨床へ、その後教育の場へ、同科目の教育については、登録販売者・歯科助手・歯科衛生士・美容師を育てる専門学校にて20年ほど携わって来ました。 この科目は人体を取扱う職業人として、当たり前には持っていなければならない知識と言えます。 美容師を目指す皆さんに必要な身体の形(構造)=解剖学と身体の働き(機能)=生理学を楽しみながら学んでもらいたいです。 知らないことを知る！それが専門課程の勉強です。知的好奇心を全開に学習に臨んでください。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>美容とは美しく変容させること。 美しさとは内側と外側の連携にて表れる現象です。 どんなに素晴らしい化粧品を使っても、肌がボロボロでは活かせません。 疲れや悩みで表情が沈んでいては映えません。 お客様や身近な人の健康や栄養、静養方法などの相談に応えられる美容師を目指します。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 保健学				配布物の管理、ノートまとめ、復習、練習問題の演習、ワークブックの演習、			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	・はじめに 保健学を学ぶにあたって ・人体各部の名称とは何か						
2	・頭部、顔部、頭部の体表解剖学について知ろう。					2	
3	・骨の種類と構造 ・骨の連結					2	
4	・骨格の種類とその働きと該当する骨 について知ろう。					2	
5	・筋肉の種類と神経支配 ・各部の骨格筋 について知ろう。					2	
6	・表情筋 ・美容師と筋疲労 について知ろう。					2	
7	中間テスト					20	
8	・神経系の成り立ち ・中枢神経とその働き について知ろう。						
9	・末梢神経とその働き について知ろう。					2	
10	・感覚器系とは何か ・視覚 ・聴覚 ・平衡感覚 ・味覚 ・嗅覚 について知ろう。					2	
11	・血液とは何か ・血球の種類やそれぞれの働き ・身体の防衛 について知ろう。					2	
12	・血管の種類と血液の種類 ・心臓の構造と血液循環 について知ろう。					2	
13	・リンパ管系の仕組みと働きについて知ろう。					2	
14	・呼吸の種類 ・気道 ・ガス交換 について知ろう。・呼吸運動						
15	定期試験					60	
【特記事項】 ★必ずノート、筆記用具をご用意ください。 教科書にマーカーしますので、蛍光マーカーもあると良いでしょう。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木・金
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 実際のサロンワークでも応用して活用できるよう、パワーポイントやプリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなども出しながら授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
実際にサロンでも活かせるよう、ポイントを踏まえながら理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美容技術理論を学ぶにあたって・美容用具						
2	美容用具						
3	シャンプーイング					小テスト 5点	
4	ヘアデザイン						
5	ヘアカットイング					小テスト 5点	
6	中間テスト前復習・演習						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	パーマメントウエーピング						
9	パーマメントウエーピング						
10	ヘアセッティング						
11	ヘアセッティング					小テスト 5点	
12	ヘアカラーリング						
13	ヘアカラーリング					小テスト 5点	
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					配点 60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	サロンワーク I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 森口 長谷川
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月・火・水
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 講師実務9年、サロン実務20年現役美容師。サロンワークで必要のある技術、主にドライ、ブローなどの仕上げ力や、接客テクニックを学べます。実際にサロンワークをして、サロンで働いているのと同様な指導を受けられます。							
【授業を通じての到達目標】 基本的なサロンワークで使う技術を1セメで修得し、2セメに向けてチームワークの為に個人の技術力を上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	授業説明、自己紹介、サロンワークに必要な第一印象について認識出来る。						
2	ドライ練習、ウィックの扱い方を学ぶ						
3	ドライ小テスト					4点満点	
4	ブラシブロー練習						
5	ブラシブロー小テスト					4点満点	
6	パーマのヘルプ						
7	ブラシブロー中間テスト					20点満点	
8	サロン受付、朝の準備、掃除。受け付け～お見送りまで。						
9	お客様の誘導小テスト					4点満点	
10	サロンワーク、スタイリスト・アシスタントに分かれ営業する。						
11	サロンワーク営業						
12	ブロー練習、技術力小テスト					4点満点	
13	サロンワーク営業						
14	サロンワーク営業小テスト					4点満点	
15	サロンワーク営業定期テスト					60点満点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評 価(60～69点) E評価(出 席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 シャンプー I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	八谷・徳山・森口・須藤
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	水・木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師歴20年目。ベルエポック講師歴5年目。現在もサロンで働きながら、ベルエポックでは現場での実践的な技術・接客・美容の仕事に対する心構えを指導しています。バックシャンプーとサイドシャンプー両方の技術を習得し、現場に入った時にスムーズに各々のサロンのシャンプー方法に適應出来る基礎の技術を学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
バックシャンプーとサイドシャンプーの技術の違いを学び、それぞれに応じて技術が対応出来るようになる。また相モデルで学んでいくことでお客様の気持ちを理解しそれに応じたシャンプーが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	1セメ授業説明。道具説明～名前記入。バックシャンプーの基本技術一通りの流れの展示。クロス付け～相モデルでバックシャンプーの技術。						
2	シャンプークロス30秒でつけられる技術を習得。プレーンリンス～泡立て～肩タオルまでの技術を学ぶ。						
3	前回の技術の復習～バックシャンプーの詳しい技術を学ぶ。1線目～ネープの正しい位置を知りマニュアルを学ぶ。					クロスづけ小テスト5点	
4	前回の技術の復習～コンディショナーのつけ方・マッサージの技術を学ぶ。					プレーンリンス小テスト5点	
5	バックシャンプー～肩タオルまでトータルの技術の復習をしながら一通りの技術の実践。						
6	バックシャンプー～コンディショナーまでモデルチェンジして反復練習						
7	バックシャンプー総復習					中間テスト20点	
8	サイドシャンプーの基本技術一通りの流れの展示。プレーンリンス～泡立ての技術の習得						
9	1線目～ネープの正しい位置を知りサイドシャンプーのマニュアルを学ぶ。						
10	前回の技術の復習～コンディショナーのつけ方・マッサージの技術を学ぶ。					プレーンリンス～泡立て小テスト10点	
11	サイドシャンプーのトータルの技術の復習・モデルチェンジして反復練習						
12	頭の形を理解し手を動かせるように反復練習。						
13	サイドシャンプー総復習					定期テスト40点	
14	バックシャンプーとサイドシャンプーの違いを理解したうえでバックシャンプーの復習をする。モデルチェンジしながら反復練習。						
15	バックシャンプーの最終技術確認をし、後期のサロンワークに備える。					定期テスト20点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 カット I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山崎・長塚・佐々木
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月曜日・火曜日・水曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>美容師(スタイリスト)として10年以上の経験を積んで来ました。 美容学校の講師としても長年携わって来ています。 毎年行われているヘアショー出演、スタイル撮影、カットコンテスト入賞等、サロン以外での活動も多数経験しています。 そこから得た経験と知識でベーシックからアレンジスタイルまで多くのカット知識を美容師になった時にいち早くスタイリストになれるようにお伝えしていきます。 目的:半年間の授業を通し、ワンレングス・グラデーションカットの基礎知識、応用技術を習得する。 概要:将来美容師として夢見る生徒の皆さんに自分の持っている経験・技術でサポートしていきます。 スタイリストとして基礎となるベーシックのカット理論をしっかり伝えていく。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
ワンレングスカット・グラデーションカットの基礎知識、応用技術を習得し、ウィッグで再現出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
カットウィッグ・カット、ブロー道具一式・雑巾 等							
回	授 業 概 要			WIG	テ ス ト 配 点		
1	ワンレングスカットの基礎知識と基本動作 ブロッキング練習			new A(黒)			
2	床平行ワンレングスカット	ブロッキング(8ブロック)		A(黒)			
3	床平行ワンレングスカット	ブロッキング(8ブロック)		A(黒)			
4	床平行ワンレングスカット	ブロッキング(8ブロック)		A(黒)			
5	床平行ワンレングスカット	ブロッキング(8ブロック)		A(黒)	小テスト(5点)		
6	中間試験	ワンレングスカット・ブロッキン込み		new B(茶)	中間(20点)		
7	ワンレングスカット(デザインカット)			A(黒)			
8	ワンレングスカット(デザインカット)			B(茶)	小テスト(5点)		
9	ベーシックグラデーションカットの基礎知識			new C(茶)			
10	ベーシックグラデーションカット			C(茶)			
11	ベーシックグラデーションカット			new D(茶)	小テスト(5点)		
12	グラデーションアレンジスタイルアレンジスタイル			C(茶)			
13	定期試験	グラデーションカット		D(茶)	定期(60点)		
14	グラデーションアレンジスタイル			C(茶)	小テスト(5点)		
15	グラデーションアレンジスタイル			C(茶)			
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 カラーリング	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	安田・前川・徳山
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	水・木・金 曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現在サロンで働いている美容師が現場でお客様からのニーズの高い技術を基礎から教え、即戦力として活躍できる美容師を育成する。 また、多様化するニーズにこたえられるよう幅広いカラーリングの知識や技術を身に付ける。							
用途によったハケの使い方、酸性、アルカリ性などのカラー剤の違い、ブリーチによる髪の脱色効果、ハイライト、ローライトとヘアデザインの関係性、ハイトーンへのオンカラー、デザインカラー(創作)などを授業を通して行う							
【授業を通じての到達目標】							
カラーリングの基礎知識、塗布テクニックを習得し、ウィッグで再現出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ウィッグ カラー道具一式 ダツカール スプレイヤー タオル 雑巾など							
回	授 業 概 要			ウイッグ		テスト配点	
1	ヘアカラーの基礎知識と基本動作 2タッチ 1タッチ			黒ウィッグ1 クリーム			
2	ヘアカラーの基礎知識と基本動作 溜め塗り ゼロテク			黒ウィッグ1 クリーム			
3	ファッションカラーの塗布練習 2タッチ 溜め塗り			黒ウィッグ1 カラー			
4	ファッションカラーの塗布練習 1タッチ ゼロテク			黒ウィッグ2 カラー			
5	ブリーチ 1ブリーチ 10トーン～			黒ウィッグ1			
6	ブリーチ 1ブリーチ			黒ウィッグ2			
7	ブリーチ 2ブリーチ 15トーン～			黒ウィッグ2			
8	オンカラー アンダー 10トーン 半頭ずつ 暖色/寒色			黒ウィッグ1			
9	オンカラー アンダー 15トーン 半頭ずつ 比較			黒ウィッグ2			
10	ホイルカラー ベーシック			黒ウィッグ1 クリーム			
11	ホイルカラー インナーetc			黒ウィッグ1 ブリーチ			
12	オンカラー 塩基、酸性カラーetc			黒ウィッグ1 カラー			
13	創作デザインカラー① ベース作り			黒ウィッグ3			
14	創作デザインカラー② ベース作り～オンカラー			黒ウィッグ3			
15	創作デザインカラー③ スタイリング/プレゼン			黒ウィッグ3			
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 ワインディング I	必修 選択	必修	年次	前期1	担当教員	赤羽 山下 田丸 萩尾 鷺尾 西島 松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月・水・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師になるための国家試験の実技科目を10年指導しており、ホワイトボードでの解説や実技展示での説明と丁寧な指導で、国家試験のワインディングの技術を習得できます。またサロンワークや福祉美容、ヘアメイクは20年以上の実務経験があり、国家試験の授業を通して美容師としての基礎技術を指導していきます。							
【授業を通じての到達目標】							
ワインディングの基礎的な技術を覚え、国家試験の課題を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
道具一式 衛生用具 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	衛生用具の作成 道具の扱い方 美容用語を覚える						
2	10ブロッキングの構成を覚える						
3	タイム内で10ブロッキングが出来るようになる 下巻きの巻き方を覚える					10ブロッキング5点	
4	10ブロッキングのタイムアップ 正しい巻き方での下巻きを習得する 上巻きの巻き方を覚える						
5	上巻き下巻きのシステムを理解し、つながりよくセンターを巻く					センター5点	
6	センター15本を制限時間内で巻く フロント3本の配列を覚える						
7	正確な巻き方でセンター15本を制限時間内で仕上げる					巻き方 センター20点	
8	センターのタイムアップ フロント～右側上巻き9本の配列を覚える					1点	
9	正しい姿勢と体勢で右側上巻き9本を巻く 右側下巻き部分の配列を覚える					1点	
10	正確に右側を巻けるようになる 左側の上巻き6本の配列を覚える					1点	
11	センター～右側のタイムアップ 左側の下巻き部分の配列を覚える					1点	
12	正確なセンターで左右を通して巻く 正しい姿勢と体勢で左側を巻けるようになる					左右5点	
13	全頭を制限時間内で巻くことが出来る					1点	
14	衛生を覚える 手直しを覚える 定期試験に向けての確認						
15	制限時間でブロッキングから全頭を正確に巻く					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	神谷・野村・鈴木・岩本・尾崎・大迫
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜日・木曜日・金曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験のある教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。 シジョンを通し、自己受容・他者信頼・他者貢献を養い、職業人に必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付ける。 レクリエー							
【授業を通じての到達目標】							
グループワークを通して、自分の強みを理解し自己肯定感を高める。また他者を受け入れることができる。 地域の特性を生かし、業界、職業理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	クラス会議(他己分析・目標設定)						
2	原宿サロンマップ ①						
3	原宿サロンマップ ②						小テスト10点
4	コミュニケーション力向上のためのグループワーク(LEGO)						
5	自己分析(認知特性)						
6	コミュニケーション力向上のためのレクリエーション						
7	基礎知識・チーム力向上のためのレクリエーション (コミュニケーションリレー)						
8	職業理解(お客様体験 前教育)						中間テスト20点
9	職業理解(お客様体験 後教育)						
10	一般常識・ビジネスマナー						
11	自己分析(ジョハリの窓 ①)						
12	自己分析(ジョハリの窓 ②)						小テスト10点
13	コミュニケーション・チーム力向上のためのレクリエーション						
14	コミュニケーション・チーム力向上のためのレクリエーション						
15	前期振り返り・後期就職活動に向けたプランニング						定期テスト60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	ヘアメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉原・守屋
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月・水・木
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>都内で、美容師を経験後ヘアメイク転向。スチール、ブライダル、PVなどのヘアメイクの現場での経験を活かし美容師になった時に撮影などで役に立つテクニックを活かせるような技術を取得していく。 ヘアアレンジではコテやピンニング、道具の使い方、アレンジの技術を基本から学び、サロンで使える様々なヘアアレンジが出来るようにメイクでは道具の種類や扱い方、メイクアップの1つ1つの技術を学び、相手に似合わせたメイクアップが出来るような技術を取得していく。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアアレンジではコテの巻き方ピンニング、ブラシなど道具を使いこなし、編みこみやツイスト・波ウェーブなどアレンジの種類を覚え、いろいろなアレンジが出来るようにする。 メイクでは道具の扱い方を覚え、ベースメイクやアイメイク・骨格に合わせたチークの入れ方・リップメイクなどナチュラルメイクの基本をマスターし アレンジやトレンドに合わせてメイクができるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
《メイク》メイク道具一式 タル3枚 小さいビニール袋 タッカー ティッシュ コットン 綿棒 《ヘア》ウイッグ クラップ タル コブ ストレイション コム ブラシ類 タッカー ビン・ゴム類							
回	授 業 概 要						テスト配点
1	【メイク】メイク道具の「使い方」の仕方、スキンケア・ベースメイクの基礎知識・やり方						2
2	【メイク】前回の授業の復習・ブラシの使い方・アイシャドウの基本(縦割り・横割りグラデーション)						2
3	【メイク】アイラインの種類別引き方・ビューラーの使い方・マスカラのつけ方						2
4	【メイク】アイブロウの理論説明・種類と描き方						2
5	【メイク】リップ・チークの理論と描き方						2
6	【メイク】男性・韓国メイク						2
7	【メイク】女性・韓国メイク						2
8	【メイク】中間試験のデモンストレーション・練習						4
9	中間試験 (フルメイク40分)						20
10	【ヘア】ビンの種類説明・ピンニングのやり方						2
11	【ヘア】裏・表編み込みやり方と編み込みを使ったヘアアレンジ・スタイリング剤の使い方						2
12	【ヘア】くるりんぱ・ツイスト・波ウェーブを使ったアレンジ(編みおろし・ハーフアップ)						2
13	【ヘア】ゴムの使い方と一束の基礎・一束アレンジ(ポニーテール)						2
14	【ヘア】簡単ヘアアレンジ・期末試験のデモンストレーション・練習						4
15	【ヘア】期末試験(編み込みハーフアップ)						50
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト30点、中間テスト20点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			

科目名 (英)	美容総合技術 I Beauty Politeknizm I	必修選択	必修	年次	1	担当教員	神谷・安田・松永
学科・コース	美容師科	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	月・水・金曜日 1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生たちの持つイメージをスタイリングなどで表現し具現化できるように、美容師及び美容学校で長く実務経験を持つ教員が、実習を通じて授業を行い、技術をアピールする基礎力を身につけることができる。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
金髪超ロングウィッグ、クランプ、ドライヤー、カールアイロン、ストレートアイロンシザーケース、リング コーム、ダックカール(5本以上)、タオル2枚、延長コード雑巾、エプロン、筆記用具、名札、油性マ ジック、メモ帳、スプレイヤー							
回	授業概要					テスト配点	
1	カールアイロン技術(フォワード・リバース・巻きつけ)						
2	カールアイロン技術カールアイロン技術(スパイラル・毛先逃し巻き)ストレートアイロン技術						
3	カールアイロン技術(フォワード・リバース・スパイラル・毛先逃し巻き)小テストストレートアイロン技術					小テスト5点	
4	ウィッグのカット カールアイロン技術(平巻き<内・外>、波巻き)						
5	カールアイロン技術(波巻き)小テスト					小テスト5点	
6、7	メンズセット(ストレートアイロン応用)						
6、7	メンズセット(ストレートアイロン応用) 中間試験					小テスト5点	
8、9	作品撮りメイク						
8、9	作品撮りメイク 中間試験					小テスト5点	
10	作品撮り練習						
11	作品撮り本番					中間テスト20点	
12	作品撮り(外部講師)						
13	夏休み課題 作品撮りコンセプトシート・練習						
14	動画作成(外部講師)						
15	動画作成本番					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 			